



# はばたき

学校教育目標 自ら学び 心豊かで 健やかな子ども

令和5年7月10日

第12号

校長 古本 龍夫

子どもから「生きる力」を奪う最も簡単な方法は？

7月も十日が過ぎました。毎日じめじめとした蒸し暑い、日が続きますが、子どもたちは、雨にも負けず、精いっぱいがんばっています。江戸幕府を築いた徳川家康ですが、幼少期に今川義元のところで人質となります。その時に今川義元は、家臣に、「”むごい教育”をせよ!」と命じます。むごい教育とは、子どものやりたい放題にし、思い通りにさせる環境を与えることだそうです。そのことで、我慢することや耐性、忍耐力をつけさせず骨抜きにする。それが”むごい教育”なのです。

## 集団下校班顔合わせ会

7月4日(火)5校時集団下校班顔合わせ会を行いました。児童数の急激な増加に伴い、集団下校班を少し編成し直しました。6年生のリーダーを中心に、自分は何の班に所属するのかを確認し、自己紹介や並び方など練習をしました。



## 縦割り遊び

7月4日(火)お昼の時間に縦割り遊びをしました。6年生を中心に、1年生から6年生までの縦割り班を編成し、いっしょに仲よくあそびました。



## 田植えから一ヶ月

田植えから約一ヶ月が経った7月8日(土)のはばたき農園の様子です。



## 7月 行事予定



- 10日(月) 午前中4時間授業～14日
- 12日(水) おはなしの世界(2年)
- 14日(金) 学校保健委員会
- 17日(月) 海の日
- 20日(木) 第1学期終業式
- 24日(月) 個人面談(～27日)

## 子どもを守るネットワークパトロール

7月8日(土)8時50分鳴見台中央公園に集合し、2手に分かれてパトロールを実施しました。大人子どもを合わせて113名の参加があったそうです。小雨の中でしたが、有意義なパトロールとなりました。



< むごい教育 >

今川義元

江戸幕府を築いた徳川家康が幼少の頃、駿河の今川義元の人質になった時のことです。義元は家臣に対して幼い家康に「むごい教育をせよ。」と命じます。

家臣たちは、その言葉通り家康を一日中鍛え上げました。一日の終わりに便所で腰が下ろせないほどだったといいます。ある時、義元が家康の養育係を呼んで問いかけました。「むごい教育をしているか。」家臣は、「はい。むごい教育をしております。朝、起きたときからすべて駆け足で行動し、食事も野戦食、剣術、馬術も休む暇無しです。」と報告しました。これを聞いて義元は、語気を荒げて「それは、むごい教育ではない。お前たちは、余の意図が分からないのか。」と言いました。「今日からは、朝から晩まで海の幸や山の幸あふれる贅沢なごちそうを好きなだけ与えてやれ。寝たいと言ったらいつでも好きなだけ寝かせてやれ。夏は暑くないように、冬は寒くないようにしてやれ。学問が嫌だと言うのならやらせるな。何事も好き勝手にさせたらよい。」と命じました。

これを聞いた家臣は、腑に落ちない顔をしていたので義元は、次のように語ったそうです。「家康は将来武将として生きていかなければならない運命にある。今のうちに意志も筋金もない骨抜きにしておくのだ。このようにすれば大抵の人間はだめになる。」